



## 「屋根の上に住空間」 —空と光、風の匂いを感じる家—

快適に暮らせる家と言えば、機能性も重要ですが、あこがれはやはり「庭付き」でしょうか。とはいえ、特に都心部では土地が狭く、価格も高い。そんなお悩みに寄り添うのが「OSORAリビング」です。創業以来45年にわたり、常に新しい暮らしを提案し続けている、株式会社栄住産業・宇都正行 代表取締役にお話を伺いました。



株式会社栄住産業 代表取締役 宇都 正行

ります。それぞれの季節がそれぞれの美しさをもっています。でもそれが当たり前になりすぎて、案外気づかないことも多いのではないのでしょうか。そんな時、少し心や五感をリセットする場所としても「OSORAリビング」を提案したいと思います。毎日の変化に気づかず日々を過ごすのはとてももったいないことです。

### 「OSORAリビング」とは どういったものですか？

現代の多様なライフスタイルに合わせ、プライベート空間の演出ができる場所、「屋根の上に庭のある住宅」です。私自身、自然豊かな田舎出身ということもあって、家に庭があることが当たり前のように育ちました。でも今は「庭付き一戸建て」といっても、駐車スペースが優先されてクルマの出入りがあったり、知らない人が入ってくる危険だったりあります。そんな環境の中、やっぱり子どもたちにとっては、メダカを飼ったり、虫を飼ったり、その空間では何をしてもよいという冒険心を刺激することが、感性豊かな子育てに繋がるのではないかと考えました。子どもの情操教育に役立つと思ったのです。

だったら、屋根をフラットにして、屋上に庭をつくってはどうか？と。そんな発想から生まれたのが、「OSORAリビング」です。第一号のモデルハウスは、私の自宅です。今から28年前のこと。『屋根が変われば、家族の毎日が変わる』28年間、私が実感し続けていることです。

今、「働き方改革」を背景として、個々人の働き方もまた多様化してきました。自由な働き方の先に、家で過ごす（仕事をする）人も増えてきたように思います。親子のコミュニケーションのとり方や手段も変化しています。そんな現代の空間の中で、「なんとなく家族の気配を感じる」という新しいコミュニケーションの形も大切だと感じています。「OSORAリビング」

の、「半分・家の外」で、「半分・家の中」という、「縁側」的な距離感が、今の時代にもあっていると思います。個々はそれぞれあるけれど、調和してそこに在るというさわやかな安心感でしょうか。



### とても斬新な発想ですね。

はい。私もそう思います（笑）。でも、日本の家は奈良時代からずっと三角形の「勾配屋根」が当たり前で、当時、フラットな屋根はなかなか受け入れてもらえませんでした。工務店さんたちからは、「屋根をフラットにすると、雨漏りして大変なことになる」と言われました。千年以上も続く、「屋根は三角形」という常識を覆すのはかなり難しいことでしたが、丁寧に時間をかけて説明し、実績を積み上げることで、少しずつ賛同して信頼してくれる工務店さんもあらわれてきました。



### 御社の今後の展望をお聞かせください。

国内では現在、約3500社の工務店や設計事務所と取引があります。そして、海外展開としては、2014年にフィリピンに会社を設立しました。これらを拠点に、私たちはこれからも、より多くの人たちに、快適なライフスタイルを提案していきたいと思っています。



独自の防水工法の技術を駆使して開発した「OSORAリビング」は、これまで1万棟以上施工しており、木造住宅での屋上緑化を実現してきました。私たちは「屋根の革命」と呼んでいます。三角屋根を平らにしたらそこにもう一つ部屋が生まれたのです。

### 「OSORAリビング」は環境にも配慮されているそうですね。

屋上に庭をつくることは、空間を有効に活用できるだけでなく、エコでもあります。当社の工法は雨漏れしにくく、植物を育てたり、ガーデニングをしたり、家庭菜園もできます。屋上緑化することで屋根の温度も下がるので、室内も涼しく過ごせます。

### 何かと忙しい現代人にとって、リラクセスできる場所と言えますね。

自然は毎日変化します。風の吹く方向、空の状態、光の加減や空気のおいなど。また、日本には四季もあ

### 取材を終えて

お話をきいている間、屋根の上の暮らしが、具体的なイメージとして湧いてくるのが不思議でした。「屋根の革命」と言える最先端のお話でありながら、ふと自分の中で、昔を懐かしく振り返る瞬間がありました。「OSORAリビング」の提案は、自然を満喫するライフスタイルの提案と言えるかもしれません。



取材の様子

株式会社 栄住産業  
EIJYU SANGYO Co., Ltd  
福岡市東区原田 3 丁目 5-6  
TEL 092-622-6292(代)  
<https://www.eijyu.co.jp/>  
栄住産業 検索